

水のめぐみ

Vol.
48

2018
8.1



「高崎の水」飲み比べ



浄水装置の実演



花苗の配布



水道管で作る水鉄砲

水道週間イベントを実施しました (環境フェアと共に)

水道週間は、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るために、水道について皆様の理解と関心を深めていただく週間です。1959年(昭和34年)に厚生省(当時)により制定されました。今年で60回目を迎え、6月1日から7日まで全国で実施されました。

本市では、関連事業として、市環境部で実施している「環境フェア」との共催により、6月9日(土)にもてなし広場で、イベントを実施しました。イベントでは、花苗の配布や水道管で作る水鉄砲作り、「高崎の水」飲み比べなど、さまざまな催しを行いました。当日は天候にも恵まれ、家族連れなど多くの来場者で賑わいました。



下水道パネル展



お知らせ

新井上下水道 事業管理者が就任

このたび4月1日付けをもちまして高崎市上下水道事業管理者を拝命いたしました新井俊光でございます。

水道の安全・安心・安定的な供給と下水道の普及促進に努めるとともに、施設の耐震化や危機管理体制を強化し、災害に強い上下水道事業を推進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



「水道災害時の緊急応援 給水活動に関する覚書」の締結

平成30年3月7日、株式会社ジーシーシー自治体サービスと「水道災害時の緊急応援給水活動に関する覚書」を締結しました。

この締結により、有事の際の給水車による支援活動はもちろんのこと、防災訓練への参加などでも連携を図っていきます。



(株)ジーシーシー自治体サービスの給水車

不審な訪問業者にご注意を

市から依頼を受けた業者が、突然ご自宅を訪問することはあります。訪問する場合は、事前に区長さんに相談し、委託業者や調査概要を回覧などでお知らせしています。

業者が突然訪問し、排水設備の点検や修繕を勧められた場合は、「身分証の提示を求める」、「その場で契約せず、家族などに相談する」、「不審な点は下水道局へ問い合わせる」等を心がけてください。



●問い合わせ先 下水道局維持管理課(電話 027-321-1290)

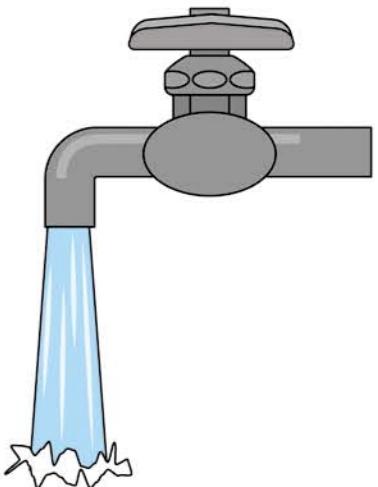
朝一番に赤い水!?

原因は、水道管内部の鉄サビと思われます。宅地内の水道管(=給水管)が使用年数の長い鋼管の場合、水道管内部にサビが発生しており、夜間など長時間水を使用しないと水が動かず管内に留まります。水がその間にサビを取り込み、赤い水となって蛇口から出でます。

対策としては、しばらく水を流すと赤い水は管から抜けますので、朝一番の水はバケツなどに汲んで散水に使っていただき、その後通常の透明な水になつたら飲用に使ってください。しかし抜本的な対策となると、やはり給水管の布設替えをお勧めします。

もし誤って赤い水を飲んでしまったとしても鉄はもともと人体に有用な金属であり、さらに赤サビは人体にはほとんど吸収されませんので心配ありません。

また、水道本管(=配水管)の中のサビが水道工事終了後に動いて、赤い水が出てくる場合がありますが、これもしばらく放流してから飲用に使用されることをお勧めします。



●問い合わせ先 水道局浄水課(電話 027-321-1286)